

(公開用)

令和6年度 飯山市未来の保育検討会 会議録（要旨）

開催日時 令和7年2月18日（火） 午後2時00分～

場 所 飯山市役所 4階 全員協議会室

出席人数 委 員：16名（5名欠席）
 事務局： 5名

飯山市の保育環境に関する報告書（案）について

事務局：（説明）

会 長：報告書の案について、ご意見やご質問はありますか？

私からですが、1-2 番「保護者にとっての保育園」の「土日休日保育」について、「土曜保育、休日保育」と分けた方が適切ではないでしょうか。休日保育は料金が発生するなど別の扱いなので。ほかにご意見はありますか。

委 員：2 番の項目が整理されて見やすくなり、方向性が明確になったと感じました。とても良いと思います。また、前回と比べて「持続可能」など現代に合った表現が使われており、失礼ながらもかなりグレードアップした印象を受けました。

会 長：ありがとうございます。他にご意見はありますか。 特になければ、この形で教育長へ報告としますが、よろしいでしょうか。事務局の皆さん、いかがですか。

事務局：ありがとうございます。微修正程度でよろしければ、休憩中などに製本を準備し、お渡しできればと思います。その形で進めてもよろしいでしょうか。

会 長：少しお待ちいただく間、自由に日頃の意見を出していただきながら、製本を進めたいと思います。皆さん、よろしいでしょうか。

教育長：確認したつもりでしたが、少しよろしいですか。1 ページ目の「1 現状と課題」の前にもう一つ「1」があり、表記が重なっています。例えば、ローマ数字や漢数字にするなど、統一した方がよいと思います。また、2 ページ目の「保育提供体制の方向性」についても見直したいので、少し変更させてください。

会 長：では、分かりやすいように修正をお願いします。事務局で製本を進めますので、その間、引き続き自由に意見をいただき懇談をお願いいたします。

（自由意見による懇談）

会 長：準備ができたようですが、よろしいですか。 配布された資料をご確認いただき、最後に委員の皆さんから一言ずつお願いできればと思います。この回が最後となりますので、ぜひ一言ずつお願いします。いかがでしょうか。

委 員：保護者会長をはじめ、代表の方々にはお忙しい中ご参加いただき、現場の声を共有していただい

(公開用)

たことに感謝しています。本音での意見交換ができ、本日無事にゴールを迎えられそうでありがたく思います。日本の未来を担うのは子どもたちであり、困難な時代を生き抜く力を育むことが重要です。その基盤は幼児期にあり、家庭や保育園での経験が大切だと考えています。楽しいことだけでなく、悔しさや困難を乗り越える経験こそが、自分を律するという「自律」や成長の原動力になります。寒い日でも仲間と頑張った思い出が、大人になっても力になるように、幼児期の体験が人生の支えになると感じています。園の先生方が日々かける言葉や対応が、子どもたちの心に残り、将来の困難を乗り越える力になることを改めて実感しました。幼児教育が子どもたちの財産となるよう、良い体験を提供していくことが大切です。今回の報告書には、そうした思いが反映されているように感じ、個人的にも満たされた気持ちです。現場の苦労や子育ての大変さについて生の声を聞かせていただき、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

会 長：次の委員さんいかがでしょうか。

委 員：皆さんの意見を聞きながら、この報告書を改めて見て、多くの人の思いが集約されたとても良い内容になっていると感じました。今話された委員さんのお話にも深く共感します。幼児期は本当に大切な時期であり、子どもを導くのは保護者の役割だと思います。今後もその視点を大切にしたいです。よろしくお願いします。ありがとうございました。

会 長：少し余談になりますが、私がしろやま保育園にいた頃、委員さんが民生委員として運動会などの行事に来てくださり、子どもたちを応援し、保護者に声をかけてくださったことがとてもありがたかったのを思い出します。当時、しろやま保育園には支援センターもあり、民生委員や主任児童委員の方々が時々顔を出してくださり、地域の大人たちに見守られながら子どもたちが成長していくことを肌で感じていました。本当に感謝しています。それでは次の委員さんお願いします。

委 員：報告書を拝見し、改めて子どもにとっての保育園の大切さを感じました。保護者の方から「安心して預けていたのに、老朽化が進んでいてショックだった」といった声を聞き、自園も大丈夫だろうかと考えさせられました。ただ、この報告書を通じて、今後改善が進んでいくことが見えてくるといいなと思います。当園は公立園ではなく、私も園長ではないため発言できることは限られますが、個人的には保育士の労働条件が改善されることを願っています。将来的に、保育士を支える仕組みや居場所ができたらいいなと個人的には思っています。また、優先順位を明確にしながら、何を大切に、どの課題を優先して解決していくのが重要だと感じました。この報告書は、とてもよくまとめられており、多くの声を丁寧に拾い上げた貴重なものだと思います。

会 長：ありがとうございます。では次の方をお願いします。

委 員：資料を拝見し、非常に分かりやすくまとめられていると感じました。前回も的確な内容でしたが、今回「統合」という言葉が出始めたことが印象的で、良い方向だと思います。個人的には、

(公開用)

北と南にそれぞれ保育園があるのが理想的かなと考えています。現在、うちの子は常盤小学校に通っていますが、来年城北小学校へ進学します。統合により2クラスになるものの、近い将来1クラスになるのではと思っています。せっかく建てた小学校でも、教室が使われなくなってしまうのではと気になります。飯山小学校の例を見ても、別の名前で利用はされているものの、将来的に施設の活用について疑問を感じる部分があります。令和5年度以降、産まれた児童が100人を切る年もある中で、長期的な視点で考えると、市全体で1つの施設に統合するほうが合理的なのではと考えることもあります。今後の人口減少を見据え、移住者が急増する見込みがない以上、目に見える数字を基にした計画が重要だと考えています。その点をしっかり検討していただけたらと思います。

会 長：ありがとうございます。園長先生いかがですか。

委 員：この会では、さまざまな立場の方と意見を交わし、保育環境について一緒に考えることができたのがとても良かったです。保育園の課題もありますが、やはり子どもたちにとって最良の環境を整えることが何より大切だと改めて感じました。

会 長：ありがとうございます。次の方をお願いします。

委 員：園舎に雪が積もり「まだ大丈夫かな」と思っていたのですが、自分ひとりで判断せず、職員と相談しながら市にも確認していきたいと考えています。また、子どもの立場で考えると、年齢別保育の重要性を感じる一方で、異年齢の交流や遊びも大切だと思います。どちらの経験もできる保育園が理想的だと感じました。今後も、子どもにとって最良の保育園とは何かを考えながら、保育に取り組んでいきたいと思っています。

会 長：では次の園長先生をお願いします。

委 員：この会では、「子ども第一」「安心・安全」という言葉が多く聞かれ、本当にそのとおりだと感じました。子どもの視点で深く話し合えたことが良かったと思います。ちょうど本日、瑞穂保育園と常盤保育園の以上児が、いずみだい保育園で合同の栄養教室を行いました。瑞穂保育園は普段少人数で異年齢保育をしています。今回は初めて年長児以外の以上児も一緒に活動しました。同年齢の子どもたちと遊んだ後、「とても楽しかった！また来たい！」と嬉しそうに帰っていき、やはりある程度の人数で過ごすことの良さを実感しました。他の園長もおっしゃっていましたが、年齢別のクラス保育も重要ですが、異年齢の関わりを通じて、大きい子が下の子を見守り、下の子が大きい子に敬う気持ちを持つことも大切です。そうした関係が育まれる保育園になっていけたらと思います。

会 長：ありがとうございます。次の方をお願いします。

(公開用)

委員：この会に参加し、保護者の思いを知ることができ、また保育園の現状を伝えることで保護者の皆さんにも理解していただけた点が良かったと感じています。日々、子どもにとって安心・安全な保育園を目指して保育に取り組んでいますが、特に雪が降る中での避難を考え、事前に対応を検討しておく必要があると改めて感じました。これからも、子どもにとって何が一番大切なのかを考えながら、安心・安全な環境を整え、子どもたちと過ごしていきたいと思っています。

会長：次の方がいかがですか。

委員：この検討委員会に3年間携わり、今日ここにいない保護者の方とも意見を交わす中で、多くの思いを知ることができ、とても勉強になりました。自分自身の振り返りや、保育観の見直しをする良い機会にもなったと感じています。どの回でも「子どもにとって」という視点が大切にされており、改めて共感しました。子どもが「保育園が楽しい」と思えることが、保護者の安心につながるのではないかと常に考えてきました。利便性や快適性が求められることもありますが、不便さも楽しさに変える保育の工夫が大切だと思います。さまざまな経験を通じて成長できる保育園を目指し、これからも「子どもにとって何が大事か」を考えながら保育に取り組んでいきたいです。

会長：他に、全体で何かありますか。ないようでしたら、事務局へお返しします。

事務局：貴重なご意見をありがとうございました。それでは、次第に沿って進めます。報告書が完成しましたので、丸山会長から山田教育長へお渡しいただければと思います。また、写真をホームページにアップしますので、センターの方へ対応をお願いいたします。

(報告書の提出)

会長：飯山市教育委員会 教育長 山田晃様。令和6年3月15日付 教字第403号によりご依頼いただいた事項について、協議・検討を重ねた結果を、別紙の通り報告いたします。よろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございます。それでは、席へお戻りください。どうもありがとうございました。続いて、次第の5番に移ります。教育長挨拶として、山田教育長、お願いいたします。

(教育長 挨拶)

事務局：ありがとうございました。それでは、よろしいでしょうか。以上をもちまして、第4回飯山市未来の保育検討会を終了いたします。皆様、本日はどうもありがとうございました。